

## 委員会の活動評価について

今期（令和5年5月～）

## 1 チェックシートによる評価

令和6年

3月5日（火）予算決算常任委員会理事会

3月8日（金）常任委員会（政策企画雇用経済観光、環境生活農林水産、教育警察）

3月11日（月）常任委員会（総務地域連携交通、防災県土整備企業 医療保健子ども福祉病院、）

- (1) チェックシートの項目を参考に、1年間の委員会活動を振り返り、良かった点、改善すべき点等を委員間討議する。
- (2) 委員間討議の後、正副委員長、各委員（理事）がそれぞれチェックシートに評点等を記載して提出する。

## 2 委員会活動 評価総括表について協議

3月12日（火）常任委員会（政策企画雇用経済観光、環境生活農林水産、教育警察）

3月13日（水）常任委員会（総務地域連携交通、防災県土整備企業、医療保健子ども福祉病院）

3月18日（月）予算決算常任委員会理事会

「1 チェックシートによる評価」での議論とチェックシートによる評価結果を踏まえて協議し、「委員会活動 評価総括表」を作成する。

## 3 委員長会議での報告及び確認

3月22日（金）委員長会議

各委員長から、「委員会活動 評価総括表」により、1年間の委員会等活動の評価を報告するとともに、委員長間で共有すべき取組等を確認し、次期委員会等への引継ぎ事項を整理する。

※委員長会議開催後に常任委員会等を開催した場合には、「委員会活動 評価総括表」への補足の有無・内容について、当該委員会（理事会）において協議し、補足後の「委員会活動 評価総括表」を委員長から議長に提出する。

## 4 代表者会議への報告

5月（予定）代表者会議

議長から委員会活動の評価や次期委員会への引継ぎ事項も含め議会活動計画の実施状況を報告し、今後の対応方針を決定する。

次期（令和6年5月～）

## 5 次期委員会への引継ぎ

5月（予定）委員長会議

議長から、次期委員長に、代表者会議で決定した対応方針とともに、前期の委員会活動の評価を引き継ぐ。

## 常任委員会活動チェックシート

このチェックシートは、「三重県議会 議会活動計画」に基づき、毎年次の委員会活動について自己評価を行うものです。

「基本方針」を踏まえて、今年次の委員会活動を振り返り、それぞれの「評価対象項目」について、「取組の方向」や「評価の視点」を参考にして、委員（理事）の皆さんで自己評価（5段階評価）を行ってください。（但し、該当のない項目は評価しませんので、当該項目の評価欄には「－」をつけてください。）

### 【チェックシートを記入するにあたっての注意事項】

|                                |   |
|--------------------------------|---|
| <p>■点数の基準</p>                  | <p>○委員個人の評価とします。</p> <p>○基準となる点数は「3点」とします。</p> <p>1点・・・「ほとんどできなかった」「不満足」</p> <p>2点・・・「あまりできなかった」「例年よりもできなかった」「やや不満足」</p> <p>3点・・・「通常どおりできた」「例年どおりできた」「普通」</p> <p>4点・・・「通常よりも良くできた」「例年よりも良くできた」「概ね満足」</p> <p>5点・・・「ほぼ完璧にできた」「十分満足」</p> |
| <p>■評価できない項目<br/>（該当なし「－」）</p> | <p>○チェックシートを記入する前に、委員間で協議を行い、評価項目に含めるか否か（「－」とするか否か）を委員会として決めます。</p>   |

## 常任委員会活動チェックシート

委員会名( )

## ○基本方針 ～住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進～ 議会の本来の機能である政策決定並びに知事等の事務の執行について監視及び評価を行います。

| 番号 | 評価対象取組          | 取組の方向   | 評価の視点  | 評価 | 自由記載(評価点の理由や気づいた点) |
|----|-----------------|---|--|----|--------------------|
| 1  | 委員会審議の活性化       | 議事機関としての議会の機能を十分発揮するため、議員相互間の討議を積極的に行うよう努めます。<br>また、効率的かつ効果的な委員会の運営を図るため、委員長会議の開催をはじめとした委員会間の情報共有・調整及び連合審査会の活用を努めます。  | 議員間討議の機会は十分に確保されていましたか。<br>議員間討議の機会を十分に活用しましたか。<br>議員間討議を通じて合意形成を図るよう努めましたか。           |    |                    |
| 2  | 年間活動計画          | 効率的かつ効果的な委員会の運営を図るため、1年間の活動スケジュール、重点調査項目、県内外調査等の予定について定める年間活動計画を策定します。  | 年間活動計画の策定に当たって、委員会で十分に議論を行いましたか。<br>年間活動計画の内容は適切なものでしたか。<br>年間活動計画に沿って委員会活動を行いましたか。    |    |                    |
| 3  | 重点調査項目          | 県政で課題となっている項目など、年間を通じて特に調査を行っていく必要がある事項を「重点調査項目」として年間活動計画で定めます。   | 重点調査項目の設定に当たって、委員会で十分に議論を行いましたか。<br>重点調査項目の内容は適切なものでしたか。<br>重点調査項目について十分な調査・審査を行いましたか。 |    |                    |
| 4  | 県内外調査           | 「重点調査項目」を中心として、所管事項について調査するための県内外調査の予定を年間活動計画で定めます。   | 県内外調査の調査先は適切でしたか。<br>調査先で十分な調査を実施しましたか。<br>県内外調査における内容をその後の調査・審査に活用しましたか。              |    |                    |
| 5  | 当初予算に係る調査・審査    | 「当初予算」については、毎年度、議長を除く全議員参加型の予算決算常任委員会を中心に調査・審査を行います。<br>当初予算について、予算編成が始まる前や予算要求の段階から予算調製方針、予算要求状況などの調査・審査を行います。<br>予算決算常任委員会に6つの分科会を設置し、当初予算の詳細な調査・審査を行います。 | 当初予算について十分な調査・審査を行いましたか。<br>当初予算に議会の意思を反映させるよう、具体的な提言や提案を実施しましたか。                      |    |                    |
| 6  | 総合計画に係る調査・審査    | 総合計画及び「みえ元気プラン」の策定並びに「県政レポート」の作成に合わせて調査・審査を行い、知事への申し入れを行います。  | 総合計画等について十分な調査・審査を行いましたか。<br>総合計画等に議会の意思を反映させるよう、具体的な提言や提案を実施しましたか。                    |    |                    |
| 7  | 個別の行政計画に係る調査・審査 | 個別の行政計画については、改定時期を見据え、基本的には所管の常任委員会で調査・審査を行います。<br>議会の議決対象となっている計画については、所管の常任委員会での調査・審査だけでなく、本会議における議案質疑を行うなど、より詳細な調査・審査等を行い、議決に至るまで一貫して議会が関与します。           | 個別の行政計画について十分な調査・審査を行いましたか。<br>個別の行政計画に議会の意思を反映させるよう、具体的な提言や提案を実施しましたか。                |    |                    |

## ○基本方針 ～開かれた議会運営の実現～ 議会活動を県民に対して説明する責務を有することに鑑み、積極的に情報の公開を図るとともに、県民が参画しやすい開かれた議会運営を行います。

| 番号 | 評価対象取組    | 取組の方向   | 評価の視点  | 評価 | 自由記載(評価点の理由や気づいた点) |
|----|-----------|---|--|----|--------------------|
| 1  | 参考人制度等の活用 | 県政の重要な案件又は県民の利害に関わる重要な案件の調査・審査に当たっては、専門的知識を有する者のほか、利害関係者や県民の意見を反映させるため、必要に応じて参考人の招致や公聴会の開催を行います。                                  | 必要に応じて、参考人招致や公聴会の実施について協議を行いましたか。<br>参考人招致や公聴会における意見をその後の調査・審査に活用しましたか。  |    |                    |
| 2  | 請願への対応    | 受理した請願については、主として所管の委員会において、誠実かつ慎重に審査を行います。また、採択した請願については、必要に応じて、知事等に対しその処理の経過及び結果の報告を求めるほか、国等に対し意見書を提出するなど、議会として願意の実現に向けた取組を行います。 | 請願審査は適切な方法で実施しましたか(執行部からの意見聴取や紹介議員の出席要求、請願者の参考人招致など)。<br>採択した請願の願意の実現に向けて、具体的な取組を行いましたか。(知事等に対する経過報告等の要求、知事等への申し入れ、意見書の提出など) |    |                    |

# 総務地域連携交通常任委員会 活動実績書（案） （令和5年5月～令和6年5月）

令和6年3月11日現在

## 1 所管調査事項

- ・行財政の運営について                      ・デジタル社会の形成について                      ・地域振興の推進について
- ・交通政策について                              ・スポーツの振興について                              ・県南部地域の活性化について
- ・会計管理、監査その他行政運営の適正確保について

## 2 重点調査項目

- (1) 行財政運営について
- (2) DXの推進について
- (3) 地域づくりと連携した地域公共交通政策について
- (4) スポーツの推進と競技力の向上について（総合型地域スポーツクラブ等と学校部活動との連携）
- (5) 熊野古道世界遺産登録20周年も見据えた南部地域の振興について

## 3 活動計画表

| 重点調査項目  | 令和5年<br>5月  | 6月  | 7月                    | 8月 | 9月  | 10月   | 11月   | 12月  | 令和6年<br>1月 | 2月  | 3月   | 4月 | 5月 |
|---|---|---|-----------------------|----|---|---|---|--|------------|---|--|----|----|
| (1)行財政運営<br>(2)DXの推進<br>(3)地域づくりと連携した地域公共交通政策<br>(4)スポーツの推進と競技力の向上<br>(5)熊野古道世界遺産登録20周年も見据えた南部地域の振興 | 予決分科会<br>補正予算等<br>(5/12)<br><br>常任委員会<br>所管事項説明<br>(5/24) | 常任委員会<br>議案の審査、<br>所管事項の調査等<br><br>予決分科会<br>補正予算等<br>(6/22, 26) | 県内調査<br>(7/19～<br>20) |    | 県外調査<br>(9/12～14)<br><br>常任委員会<br>議案の審査<br>(9/22) | 常任委員会<br>請願の審査、所管事<br>項の調査等<br><br>予決分科会<br>所管事項の調査<br>(10/6, 11)<br><br>常任委員会<br>議案の審査<br><br>予決分科会<br>補正予算<br>(10/20) | 予決分科会<br>令和4年度歳<br>入歳出決算、所<br>管事項の調査<br>(当初予算編<br>成に向けての<br>基本的な考え<br>方) (11/1) | 予決分科会<br>補正予算<br>(12/6)<br><br>常任委員会<br>議案・請願の<br>審査、所管事<br>項の調査等<br><br>予決分科会<br>補正予算等<br>(12/12, 14) |            | 予決分科会<br>補正予算<br>(2/20)<br><br>予決分科会<br>補正予算等<br>(2/27) | 常任委員会<br>議案の審査、<br>所管事項の調<br>査等<br><br>予決分科会<br>当初予算、補<br>正予算等<br>(3/11, 13) |    |    |
| 執行部の主な予定  |   | 令和5年版県<br>政レポート<br>(案)  |                       |    |   | 一般会計・特別会計<br>決算<br>令和6年度行政展<br>開方針（案）<br>当初予算編成に向<br>けての基本的な考<br>え方   |   | 当初予算要求<br>状況   |            | 当初予算案   | 令和6年度<br>行政展開方針  |    |    |

## 4 県内外調査について

### (1) 県内調査

7月19日（水）～7月20日（木）（1泊2日）

学校部活動の地域連携、デマンド型交通システム、熊野古道を活用した観光振興、まちなぎわい創出の取組（NPO法人楠スポーツクラブ、明和町役場、県立木本高等学校、世界遺産熊野古道館、おわせマルシェ、県立熊野古道センター）等について調査を行った。

### (2) 県外調査

9月12日（火）～9月14日（木）（2泊3日）

eスポーツを活用した障がい者支援、DXの推進、学校部活動の地域連携・地域移行、競技力の向上（就労継続支援B型事業所 ONE GAME、群馬県庁、スポーツ庁、味の素ナショナルトレーニングセンター）等について調査を行った。

## 調査・審査結果の施策への反映に関する参考資料

- 1 「『令和5年版県政レポート』に基づく今後の『県政運営』等に関する申入書」について（回答）…………… 1  
(R5.9.19 全員協議会資料抜粋)
  
- 2 請願への対応…………… 3
  
- 3 各定例会会議における委員長報告一覧…………… 4

# 『令和5年版県政レポート』に基づく今後の『県政運営』等に係る意見』への回答

## 【総務地域連携交通常任委員会】

### ●施策の取組

| 施策番号 | 施策名                | 担当部局名               | 委員会意見   | 回答   |
|------|--------------------|---------------------|---|--|
| 9-1  | 市町との連携による地域活性化     | 地域連携・交通部            | 人口減少が進む中、市町の住民サービス提供体制の維持が難しくなる状況が想定されるため、市町どうしの連携に対する支援や県による補充など対策を検討されたい。                                 | 人口減少下における行政サービスのあり方については、国における検討状況も注視しつつ、三重県人口減少対策方針に沿って、「人口減少を前提とした地域社会のあり方」や「中長期的な地域の方向性を踏まえた県の取組」などに関する議論の中で、行政における持続可能性の観点から、関係部局と連携し、検討していきたいと考えています。                             |
| 9-4  | 東紀州地域の活性化          | 地域連携・交通部<br>南部地域振興局 | 来年の熊野古道世界遺産登録20周年に向け、県民を巻き込みながらたくさんの方々にイベントへ参加してもらえよう機運の醸成に取り組まされたい。  | 歩き旅のブランドづくりに取り組むとともに、令和6年の早期からイベントの開催やプロモーションを組み合わせることで、機運の醸成を図っていきます。   |
| 11-4 | 水の安定供給と土地の適正な利用    | 地域連携・交通部            | 以前から課題となっている地籍調査の進捗率は前年比0.1%増の9.9%という状況であり、南海トラフ巨大地震の発生が懸念される中、国への予算要求や制度改正の要望等さまざまな施策を総動員してしっかりと取組を進められたい。 | 地籍調査は時間や費用を要するため、なかなか進まない状況にありますが、津波浸水想定区域や土砂災害警戒区域など優先度が高い地区に重点を置いて調査を進めていくことも、引き続き、市町に対して地籍調査に関する新しい技術や制度について情報提供を行い、効果的・効率的に進めていきます。また、国に対しても予算の確保や補助要件の緩和などの制度改正についてしっかりと要望していきます。 |
| 16-3 | 地域スポーツと障がい者スポーツの推進 | 地域連携・交通部<br>スポーツ推進局 | 中学校部活動の地域移行に関する記述がどこにも記載されていないが、部活動はアスリート育成の裾野として重要なことから記載されたい。   | 中学校部活動の地域移行に関しては、教育委員会において検討が進められており、スポーツ推進局も一緒に議論しています。<br>施策16-3で地域スポーツの担い手の養成・資質向上に取り組んでいるため、部活動の地域移行の受け皿の一つである総合型地域スポーツクラブの質的充実等について記載しました。  |

●行政運営の取組

| 行政運営番号 |                     | 委員会意見          |  | 回答   |  |
|--------|---------------------|----------------|--|--|--|
| 施策名    | 担当部局名               |                |  |  |  |
| 2      | 県民の皆さんから信頼される県行政の推進 | 総務部            | <p>同じ目的に向かって、事業を成し遂げる方向性も同じではあるものの、県と市町の職員の考え方や認識に隔や違いがあるもので、今後も人事交流による人材育成の推進を図られたい。</p> <p>管理職が個々の職員の症状を理解したうえで適切な対応ができるよう、地域機関の管理職を含めたメンタルヘルズ対策を進められるとともに、過重労働が特定の所属に偏っているという声が届いているため、職員が生き生きと働けるよう増員等も含め検討されたい。</p> | <p>住民と最も接する機会が多い市町での業務経験は、職員の人材育成において重要なものと認識していることから、これまで、職員の市町への派遣や市町職員の派遣受入れを行ってきており、今後も人事交流を続けていきたいと考えています。</p> <p>管理職のメンタルヘルズに関する知識や職員とのコミュニケーションのとり方は重要であるため、所属長に対する研修は継続的にしつかりと取り組んでいきます。また、組織運営にあたり、時間外勤務の状況にも注視しながら職員に係る負担の平準化に向け、総務部としても、引き続き、必要な助言を行っていきます。人員配置についても、業務の状況によって、年度途中であっても柔軟に対応していきたいと考えています。</p> |  |
| 5      | 広聴広報の充実             | 総務部            | <p>県広報紙やSNSなど多様な媒体による広報の推進にあつては、情報の受け手側のニーズや各媒体の訴求力といった観点から分析したうえで、効果的に取り組まれたい。</p>  | <p>県民の皆さんとのコミュニケーションツールとして活用されるのが目標であるため、県民ニーズの把握方法について検討を行います。</p>  |  |
| 6      | 県庁DXの推進             | 総務部<br>デジタル推進局 | <p>生成AIの業務への活用について、県の考え方を早期に示されたい。</p>   | <p>具体的に業務に落とし込むような活用方法について、スピード感をもって検討を進めます。</p>   |  |

## 請願への対応

| 定例会議    | 受理番号 | 請願                                | 委員会審査 |            | 処理経過<br>報告要求 | 請願に係る<br>意見書 | 本会議   |            |
|---------|------|-----------------------------------|-------|------------|--------------|--------------|-------|------------|
|         |      |                                   | 審査結果  | 審査日        |              |              | 採決の結果 | 採決日        |
| 令和5年9月  | 請1号  | 自動車関係諸税などの見直しに関する意見書の提出を求めることについて | 採択    | R5. 10. 11 | なし           | あり           | 採択    | R5. 10. 20 |
| 令和5年11月 | 請13号 | 「再審査改正を求めめる意見書」提出について             | 採択    | R5. 12. 14 | なし           | あり           | 採択    | R5. 12. 21 |



## 各定例会月会議における委員長報告一覧

### 9月定例会月会議

(10/20 常任委員長報告)

○熊野古道世界遺産登録20周年に向けた取組の推進と機運の醸成について

県当局におかれては、本年11月を目途に熊野古道世界遺産登録20周年事業実行委員会を設立するとともに、令和6年の早期からイベントの開催やプロモーションを組み合わせることで、機運の醸成を図っていくこととしています。

20周年という好機を活かし、南部地域を盛り上げるため、県当局におかれては、各市町が実施する周年事業との連携や支援を行い、事業全体のPRに取り組まれるとともに、スピード感を持って、県全域をあげた機運の醸成に取り組まれるよう要望します。

## 常任委員会活動 上半期振り返りシート

委員会名：総務地域連携交通常任委員会

○委員会審議の活性化の視点

- ・令和5年版県政レポートについて、委員会から意見を申し入れた結果、意見が反映されたことは良かった。今後は、実際の取組や予算等に意見が反映されることが大切であり、注視していく必要がある。
- ・南部地域の振興について、県内調査で掘んだ課題もふまえ議論できたことは良かった。

○年間活動計画について・重点調査項目

- ・重点調査項目に沿った活動ができている。

・県内外調査

- ・重点調査項目に沿って、県内外とも充実した内容で調査が実施できた。
  - e スポーツや部活動の地域連携、デマンド型交通、熊野古道センター等、様々な調査先で話を聞いたり、実際を見ることで、委員会として現場の現状や課題を掴むことができた。

○その他